

各診療科推奨モデルコース

外科専門医養成コース

モデルコースの研修順は一例で、実際の研修順は異なる場合があります。

必修内科

必修救急

選択必修

選択

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
乳腺・甲状腺外科 (選択1)			消化器外科 (選択2)			救急 (院外)			内科 (院外)			呼吸器外科 (選必1)		小児外科 (選必2)		循環器外科 (選必3)		放射線診断又は病理 (必修内科)			麻酔科 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)		

(コメント)

初期研修2年間のうちに日本外科学会外科専門医取得のために必要な症例をすべての領域にわたり必要な症例数を経験することを目指す。これにより3年目からサブスペシャリティに専念することが可能となる。そのため外科5科(消化器、循環器、呼吸器、小児、乳腺甲状腺内分泌外科)を各々2-3ヵ月ローテートし、さらに救急だけでなく別個に麻酔科も経験できる。また、将来に備え内科6ヵ月の半分を放射線診断部や病理部で研修することが可能である。